



五輪マラソン 本学の動きは

東京五輪マラソン競技で、本学構内がコースに含まれることが決定してから2カ月が経過した。本学では、事務方トップらで課題の洗い出しなどを行い、笠原正典総長職務代理(理事・副学長)を中心としたプロジェクトチームでは重要事項を話し合っている。

昨年11月1日の札幌開催決定後、本学では同月中旬に閉庁直事務局長をトップとし、事務局の部長ら計9人による「インナー会議」を構成。また同時に、笠原総長職務代理をトップに、理事、副学長、病院長ら10人とインナー会議メンバーを合わせて、19人で「東京五輪競技マラソン札幌開催実行検討プロジェクトチーム」(PT)を発足した。

本学広報課によると、インナー会議では主に、大会組織委員会や札幌市などとの情報共有を行い、課題の洗い出しや経費負担の問題にあたるという。一方、PTでは関係する重要事項の審議などを行っている。

とき	できごと
19年11月1日	五輪マラソン・競歩の開催地を札幌に変更
11月中旬	本学事務方トップらで「インナー会議」結成 笠原副学長を中心にプロジェクトチーム発足
11月28日	組織委から構内使用が決定した場合に協力を願うとの内容の文書が本学に届く
12月19日	組織委・IOC・世界陸連でコース決定。本学構内が含まれる
12月末	組織委からコース決定に伴う正式な協力要請
20年1月下旬	本学事務職員1人が会場運営本部に出向
8月	マラソン競技開催(8・9日)

道路補修は交付金で 3月下旬から

マラソンに向けて施設の準備も進む。コースになるメインストリートなど本学構内の約2キロの道路補修は札幌市が行う方向だ。市議会での今年度の補正予算議決後、3月上旬にも正式な協定を結ぶ。大規模な舗装をする予定で、費用は本学への交付金でまかなう。

市によると、雪がとける3月下旬ごろに着工し、5月下旬までに終わる計画だ。車道部分を全面的に補修し、大がかりな工事は夜間に道路を封鎖して行うという。時間帯は基本的に午後9時から午前7時。一度道路表面を削って、その上から舗装する「オーバレイ工法」を予定する。

学外のマラソンコースの品質に合わせるため、一般道路と同様の工法が選択された。市が積算したところ補修費用は約8千万円。費用は本学の負担で、大学改革支援・学位授与機構からの「施設費交付金」を使用すると

2月号
 <編集・発行>
北海道大学新聞
 編集部
 <URL>
 hokudaishinbun.com
 (お問い合わせ・情報提供もこちらから)
 次の発行予定は4月

CONTENTS

- ・試行錯誤した学部移行制度
【#北大discover】…2面
- ・季節の一枚
…2面
- ・ニュースDIGEST
…2面

同交付金は国からの補助金を補完するもの。例年、年度初めに大学が申請するが、今回は来年度の交付金を前倒しして申請し、1月中旬に交付が決定された。

交付金額は非公表。補修費用の全額をこの交付金でまかなう予定といい、「他の施設整備に充てる財源は切り崩さない」(本学広報課)マラソン競技では、選手が速いスピードで走るため、道路に亀裂があると捻挫などケガに繋がる恐れがあるとされる。記者が2月中旬



メインストリートには亀裂がある(2月14日撮影)

正式な協力要請があった。また、今年1月下旬から本学の事務職員1人が札幌市と北海道、北海道警察、競技関係者らで構成された「札幌大通公園会場運営本部」に出向している。

に確認したところ、メインストリートの複数箇所で見つかった。本学施設部によると、道路の補修自体は毎年行っているという。

合格発表は予定通り

本学入試課によると26日現在、合格発表は予定通り。本学高等教育推進機構前の掲示と本学ホームページで行われる予定だ。前日程

雪の北大を灯りが照らす

ライトアップイベント開催、金葉祭実行委

たことで企画された。寒空の下開催された同イベントでは雪上に置かれたLEDライトやキャンドルが周囲を照らした。また会場では両日とも来場者に向けて温かいおしるこを提供。構内のチラシで同イベントを知ったという医学部1年の男子学生は「思ったより苦労が掛かっている。おしるこも温かくておいしい」と満足した様子で話した。



ライトアップの様子(5日)

日立・北大で奨学金設

博士課程対象で年520万円

日立製作所と本学は4日、博士課程の大学院生を対象の給付型奨学金制度を来年度から創設することで合意し

が3月7日、後期日程が20日で両日も午前9時。新型コロナウイルスの感染者が札幌市でも複数確認されており、「掲示を見る場合は、体調に十分留意してマスクなどの対策をしてほしい」(入試課)としている。合格発表を巡っては東京が大がかりな新型コロナウイルスの影響で学内での掲示の中止を決めていた。

金銭面で支援して産業、学術で活躍する人材の育成を後押しする。日立が大学と共同して奨学金制度を設けるのは初めて。

博士課程に進学する学生から3人程度ずつ3年間、募集していく予定で、最大9人を採用する。1人あたり年間日立が400万円、本学が120万円の計520万円を用意。このうち240万円を生活費、280万円を旅費などの研究費に充ててもらう。環境問題の解決につながる幅広い技術などを研究する学生が対象で、書類や面談によって選考する。申込スケジュールなどは今後つめる。

博士課程への進学率は全

北大の「今」を発信中!

ウェブサイト (THE MAINSTREET) | Twitter (@HokudaiShinBun)

THE MAINSTREET | Powered by 北海道大学新聞編集部

